



「銀天エコプラザ」オープン

8月1日、朝8時半よりオープニングセレモニーが行われました。

市長、中央銀天街協同組合理事長のご挨拶に続いて、環境関連団体の方々、御近所の方々、市の職員の方々に見守られながら、テープカットが行われました。

さあいよいよ「銀天エコプラザ」スタートです。みなさまよろしくお願ひします。



2つの「環境サロン」が始まりました

8月18日、市の防災危機管理課の弘中さんを迎え、環境サロン「3・11以後の暮らしと環境問題」第1回が行われました。

今回のテーマは「防災の新しい課題」で、高校生からシニア世代まで、いろいろな皆様のご参加をいただき、質問や意見もたくさん出て、いい雰囲気でサロンが進行しました。



知ろう!

「水と食べものの大切さ」

水の大切さ、食べ物の大切さについて、あらためて考え直し、ミネラルの循環という視点から、食料自給率を向上することの重要性、環境保全型農業の重要性について考えます。

毎月第2、第4木曜日 19時～20時30分
(全9回 12月22日まで)

※第2回目は9月8日、
テーマは「上水道と下水道」です。

2回目以降からの参加も歓迎です。

詳しくはポータルサイトをご覧ください。または、銀天エコプラザにお問い合わせを。

各参加費：300円



話そう!

「3・11以後の暮らしと環境問題」

東日本震災と福島原発事故で、日本社会に何が起り、何が変わったのか? 環境の視点を中心に、考える素材を提供しあい、話し合い、「3・11以後の社会」について考えましょう。

毎月第3木曜日 19時～20時30分
(全9回 3月15日まで)

※第2回目は9月15日、テーマは「ライフラインの復旧復興のために」です。

震災以後、ボランティアなどで東北に行かれた方、ぜひ現地で見、聞いたことを伝えてください。

つながろう!

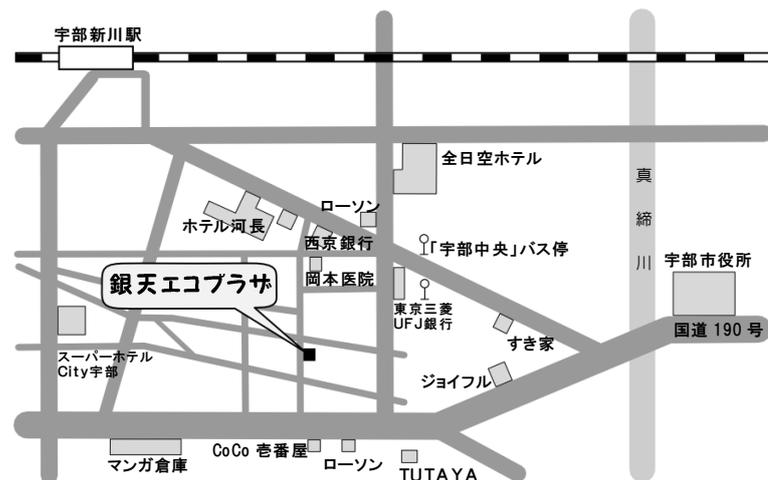


宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点や、イベントなど、環境の情報のポータルサイトです。「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。ぜひ、アクセスしてくださいね!

まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」には、学習室(無料)、大小のミーティングルーム(有料)がございます。ご利用、ご見学をお待ちしております。



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町2丁目11-21

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110

E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

銀天エコプラザイベント 9月

3(土)	第1回「まちなかエコ市場」 (10時より15時まで 銀天エコプラザ前) 野菜、エコグッズ、古本、etc ダンスや音楽のステージもありますよ。 環境なんでも相談室もやっています。	15(木)	環境サロン「3.11以後の暮らしと環境問題」 第2回(ライフラインの復旧復興のために)
		17(土)	環境なんでも相談室 <臭気や化学物質><身の回りの環境>
8(木)	環境サロン「水と食べものの大切さ」 第2回(上水道と下水道)	22(木)	環境サロン「水と食べものの大切さ」 第3回(食べ物の大切さについて)
10(土)	環境なんでも相談室 <環境情報、団体情報><子供向け情報>	24(土)	環境なんでも相談室 <省エネ><環境ビジネス>

環境なんでも相談室 気軽にさいてみよう。

環境なんでも相談室では毎週1回、当学習館において環境に関する皆さんの質問・疑問、御相談に、銀天エコプラザのスタッフが応じます。ご提案も受け付けます。

光熱費を削減するお得な情報(環境家計簿他)	第1土曜
身の回りの環境問題	
一般的な環境情報・活動団体情報	第2土曜
子供向け環境情報	
臭気や化学物質に関する情報	第3土曜
身の回りの環境問題	
省エネ相談・診断(EA21、環境ISO等)	第4土曜
環境ビジネス関連情報	

時間：10時～12時(予約制)

場所：銀天エコプラザ(ミーティングルーム・小)

メールでの問い合わせは宇部市環境学習ポータルサイト「うべっくる」の問い合わせフォームよりお願いします。

環境活動団体紹介コーナー

NPO法人「産業創造支援ステーション」

本法人は「環境と健康」をキーワードに地域社会に貢献することを目的として2006年に設立された。グローバリゼーションが進行する中、地方は危機的な状況にあり、このような時よい環境で健康的に生活するためにローカリズムを発揮することが重要と考えている。活動拠点を川上の農地に求め、産・学・公・民の新しい連携を模索し、自然と親しみながら産業創造支援と環境・健康に関わるボランティア活動を通じた地域貢献を基本に様々な課題に挑戦している。設立以来里山環境教室、真締川中流域の清掃など環境事業と中小企業への支援活動を行っている。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://e-sangyo.net/xoops/>



真締川中流域清掃

竹の食器づくりとそうめん流し



NPO法人「うべ環境コミュニティー」

今般、平成23年8月1日より宇部市まちなか環境学習館の指定管理者を受託することとなり、市民の皆様及び環境団体等の環境活動の拠点としてご利用頂けます。尚、当法人の活動概要について、以下に記載致します。

<活動事業概要>

- ・まちなか環境学習館指定管理者受託
- ・EA21普及啓発/環境家計簿普及活動
- ・企業環境保全協議会(RC)協力
- ・菜の花プロジェクトとの連携
- ・水源保護活動
- ・その他、他団体との連携活動

連絡先：まちなか環境学習館銀天エコプラザ気付「うべ環境コミュニティー」まで、メールの場合は ubekankyocom@gmail.com へお願いします。

環境ミニコラム

まちの魅力とは？(2) <身近に水瓶>

「小野湖は、市街地に近い。これはとってもすばらしいことなのよ」

富山和子さんは、小野湖での現場講義で指摘しました。なぜ近いことがすばらしいのか、しばらくわかりませんでした。車で30分、遠くもなく、特に近いとも思っていませんでした。

でも、これは、都市の市街地の水源地としては稀有なことであり、とても重要なことでした。他県に依存する東京都の一番近い水源地は、都内奥多摩の小河内ダムで、それでも都心から車で高速道路を使って2時間以上かかります。

山梨県南津都留郡道志村と神奈川県横浜市の明治30年にはじまった友好関係は、水源地保護として有名です。大阪市と琵琶湖、福岡市と筑後川もまた、水瓶は山も県も越えた遠い距離です。水は、住民の命です。血の出るような努力がなされています。

ひるがえって、宇部市のように水源地が近くにあることは、市民が見守り、育て、大切にすることも有利な条件であるというわけです。(つづく)

環境サロンスタッフ 安藤 公門

スタッフのつぶやき もうちょっとで暑い夏も終わりを迎えようとしています。学習館の利用者も少しずつ増え、リピーターの方でもだんだん顔なじみになってきました。突き刺さるような日差しの中、学習館に足を運んでくださっている方々のためにも「利用しやすい雰囲気」を作り出せるよう努力していけたらと思います。暑～い夏が過ぎ去るまであと少し。秋に向けて、雰囲気を変えるために学習館にある折り紙工作もチェンジしなければ!と思う、今日この頃でした。 絵里子